


外国人×子ども×協働

～外国にルーツを持つ子どもの現状から 共に生きる日本語教育を再考する～

現在、日本には約250万人の外国人が暮らしており、外国にルーツを持つ子どもたちも年々増えています。愛知県は、日本語指導が必要な外国人児童生徒数が2016年時点で7,277人と全国1位で、子どもの問題はこの地域の多文化共生、日本語教育を考える上で重要な課題になっています。そこで、外国にルーツを持つ子どもの現状から、この地域の日本語教育に必要な視点を考えます。

※本講座は、地域と協働して行動・体験型の教室を運営する「地域多文化コーディネーター」の養成講座のプログラムの一環として開催するものを一般公開で行うものです。

■日時 **2018年12月9日** 
14:00～16:00

■講師 **結城恵氏**（群馬大学 教授）

東京大学大学院教育学研究科博士課程修了。博士(教育学)。平成24年6月より現職。専門は教育社会学。文化庁国語審議会国語教育小委員会委員・地域日本語教育アドバイザー。エスノグラフィの手法を用いて、生活者の視点から多文化共生のあり方を探る。不就学児童生徒の実態調査(大泉町教育委員会との共同研究)、在日南米人学校の全国調査(文部科学省委託研究)等の実態調査を企画・実施。「多文化共生推進士」の養成、留学生の就職促進、定住外国人が高齢期に備える日本語教室等、群馬大学の地域貢献事業を企画・運営者として牽引。



■場所 **岡崎市図書館交流プラザリぶら102会議室**
(愛知県岡崎市康生通西4丁目71番地)



■参加費 一般：1,000円 会員：無料 (当日入会も可)

■定員 20名

■申込み viva.okazaki@gmail.com

件名に「Vivaつながるセミナー2」申込み、本文に①名前、②所属、③電話番号
④参加動機を明記の上、上記メールアドレスまでお送りください。

主催：Vivaおかざき！！

後援：岡崎市



◆団体概要◆2010年に設立し、外国人住民向けセミナーや地域住民との交流イベントなど、地域の多文化共生を進める活動を開始。2015年より『文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業地域日本語実践プログラム(B)』を受託。2017年には、内閣府「子どもと家族・若者応援団」特命大臣表彰。年間のべ200名ほどが教室に通っている。